PRESS RELEASE



ビジネスで社会課題を解決する挑戦を、アフリカから JICA 初となる難民と難民受け入れ地域の課題解決に向けた ビジネスアイデアコンテストを開催

〜大阪・関西万博にも参加するエチオピア・ウガンダ・ザンビアにおける難民課題解決に向けたビジネスアイデアを発表〜

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助(ODA) 実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構(理事長:田中明彦、本部所在地:東京都千代田区、以下:JICA)は、8月3日(日)大阪・関西万博テーマウィークスタジオにて、アフリカ(エチオピア、ウガンダ、ザンビア)における難民や難民受け入れ地域が抱える課題解決に資する革新的なビジネスアイデアコンテストの本選を開催します。本イベントのご取材をご検討いただきたく、ご案内申し上げます。

現在、世界中で避難生活を送る難民や国内避難民の数は過去最大の1億2千万人を超え、彼らの避難生活は長期化しています。この状況に対応するためには、地域社会や援助機関だけではなく、民間企業を含めた社会全体での取り組みが求められています。近年は難民自身が起業するケースも増えており、難民は支援を受けるだけの対象ではなく、経済活動の重要な担い手として注目されています。しかし、日本の民間企業にとって、難民やその受け入れ地域はまだ馴染みがなく、課題や市場ニーズ、自社製品・技術・サービスの活用可能性に関する情報が不足しているため、ビジネス展開には高いハードルがあります。そこで、JICAではこれまでの開発途上国での社会課題解決と難民支援の経験を活かし、難民の課題に特化した民間連携・ビジネス進出支援を開始します。今回、JICA初の取り組みとなる難民支援に関するビジネスコンテストでは、難民支援におけるビジネスの可能性を広げることを目指しています。

8月3日のビジネスアイデアコンテスト本選では、予選を勝ち抜いた日本の企業や個人・ グループ7者が、最終プレゼンテーションを行います。入賞者には副賞として現地スタディツアーや伴走支援が提供されます。また、協賛企業や投資家とのマッチングの機会が設けられ、アイデアの事業化をサポートします。

【ビジネスアイデアコンテスト概要】

日時	2025年8月3日(日)14:15~16:30
会場	大阪・関西万博テーマウィークスタジオ
プログラム	1. 開会挨拶
	2. 事業概要等の紹介
	3. 事前審査を勝ち抜いた 7 名によるビジネスアイデア最終プレゼンテ
	ーション
	4. ウガンダ大会動画上映
	5. 結果発表、閉会挨拶

司会



陣内智則氏



武村貴世子氏 お笑いタレント、司会者、Youtuber 司会、ナレーション、ライター、ラジ オパーソナリティー

共催

国連高等弁務官事務所(UNHCR) 駐日事務所、一般社団法人 Welcome Japan

【当日の取材可能事項】

- ・プレゼンテーションを実施する出場者7名の方への個別取材 ※詳細は次頁に記載
- ・審査員への取材 ※詳細は次頁に記載
- ・JICA 担当者への取材

【難民支援に関する JICA の取組概要】

・JICA の難民支援の取り組み

■独立行政法人国際協力機構(JICA)について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協 力など日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と 地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの 解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは https://www.jica.go.jp/index.html をご覧ください。

【本選出場者(順不同)】



独自技術とベナンとセネガルの350以上の村で活動し、住民の 収入を100倍にした実績と経験を難民課題解決に活かす。

Dots for

ウガンダ

株式会社Dots for (法人)

案件名:

デジタルで学び、スマホで稼げる。情報格差と機会格差を 圧倒的安価でどこでも設置できるアフリカのデジタルデバイド 難民のためのデジタルブラットフォーム

デジタルデバイドの地域を誰でも基礎知識不要で簡単に、 そして数時間で超低コストでデジタル化する独自技術である 「分散型通信インフラ」と、アフリカ農村の様々な課題をスマ ホを通じて解決する「デジタルサービスブラットフォーム」を提供 する



farmers 360°link (グループ) 客件名: farmers 360°linkを通じた

案件名: farmers 360°linkを通じたザンビアでの綿花等 輸出・換金作物の生産拡大とコミュニティの発展支援

farmers 360°link(以後「FL360」)は農家と消費者を繋ぐブラットフォームである。消費者は製品のQRコードからスマホ上で生産者や農作業、自然・労働環境への配慮等の背景情報を確認。又、購入代金の一部が現地に還元され社会インフラ・サービスの導入や生産性向上を支援。消費者は現地コミユニティが発展する様子を確認出来る。難民等影響地域へのFL360の導入で、世界の消費者を巻込みながら難民・元難民の収入向上とコミユニティの発展に寄与する



Kazi

難民女性に特化したオフグリッドBPO(ビジネスプロセスアウト ソーシング)ブラットフォームにより難民キャンプから国際的に活躍 するAI人材を輩出する未来を。

ウガンダ

Kazi Connect (グループ)

案件名:「インフラ×スキル×雇用」で世界とつながる。 難民発、「はたらくカ」と「つながるカ」で切り拓く次世代 デジタル経済圏

Kaziコネクトでは難民、特に女性を対象に、通信インフラ整備、IFレーニング、機器共有などむ基盤支援を行い、AI用データ入力等のタスのによる収入、スキル習得の機会を提供、業務委託による安定収益を難民のインターネットアクセス向上に循環させることで、キャンプ内にいながらも、世界と繋が、経済的自立と未来の選択肢を広げる仕組みを目指す



大学機関との共同開発によって生みだしたアフリカの農業廃棄物を利用する 革新的な技術と特許にこだわらないオープン戦略でアフリカを照らす。

主に日本や欧州の消費者ブランドやリテールチェーン、及びその先にいる一般消費者をターゲットにサステナブルな綿製品の展開を広げる。(Ron HermanやBEAMS等で販売実績)

ウガンダ

ライト アップ アフリカ (グループ)

案件名: アフリカメイドのEDLCでアフリカを照らそう

EDLCは構造がシンプルで簡単に作れる二次電池の仲間で、 先端的な技術を必要とせず、日本でも古くから生産されて いる。EDLCの多くは電極材に鉱物系活性炭を使用するが、 アフリカ農村部で多く発生する農業残渣を使った植物系活 性炭等を使用することにより、アフリカで誰もが簡単に生産 できる環境負荷の少ないEDLCを開発し、難民地区を含む アフリカ全域で電気にアクセスできる環境を作り出すことを 目指す



TERRA

国内トップクラスの営農型太陽光発電技術者が率いる取得済み 特許技術を活かした世界最大規模のソーラーシェアリングプロジェク

株式会社TERRA(法人)

案件名: Megelle Solar Oasis Project ~世界最大規模の 社会課題解決型ソーラーシェアリング~

エチオピアでは農業の不安定化、食料とエネルギー不足が難 民・国内避難民の自立を阻害している。ソーラーシェアリング (営農型太陽光発電以下SS)の実績を活かし、立体的 土地利用により持続可能な再工本音及と農業振興及び六 次化を実施して、工業団地とIDPキャンプを擁するメケル市 (Meqelle/ティグライ州首都)の総合再生を図る持続可能なアフリカモデルを構築を目指す



LIM-KAWANO & Co.

日本の中小企業やスタートアップを主要顧客ターゲットとし、IT人材不足解消とスキルや就労意欲が高い難民の就労機会の創出を同時に実現していく。

ウガンダ

Lim-Kawano & Company株式会社(法人)

<u>案件名: DignityHub - 難民向け雇用創出プラット</u>フォーム-

難民にBPOやIT開発業務の仕事機会を提供するマッチングブラットフォームを構築。世界的なIT人材不足とパックオフィス業務の外注ニースを背景に、初期はコンシュルジュによる手動マッチング、将来的にはシステムが自動マッチングを行う自律運営型ブラットフォーム化を目指す





Cor-an

国際的にも先駆的な「複合的課題に対する複合的解決策」となるビジネスモデルを構築し難民と共に。

ウガンダ

Cor-an Holdings (法人)

案件名:モリンガで世界を変える -ウガンダと先進国の課題を 独自技術molyphenol®で同時解決-

高栄養価のモリンガと輸出用花卉を同一画場で複合栽培することで、難民の食料安全保障向上と収入創出を同時に実現。鉱山跡地を再生活用し、日本発の特許技術によるモリンガからの高機能成分「モリフエノールー」抽出と残造の食品利用で付加価値を創出し、モリンガ植林によるカーボンクレジット化で環境と経済の両立を図る持続可能な難民支援デルを構築する



【審査員(順不同)】

UHNCR 駐日事務所代表(予定)

一般社団法人 Welcome Japan 代表理事 金 辰泰 Novastar Ventures Ltd, Director 山内 理希 独立行政法人国際協力機構 アフリカ部次長 内田 久美子